MASPRO

CATV パイロットジェネレーター

取扱説明書

CATV PILOT GENERATOR

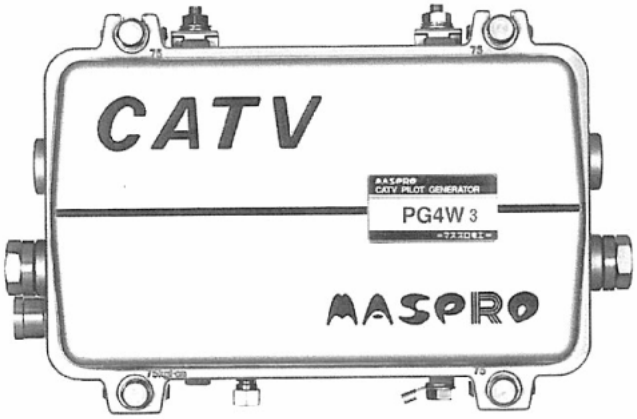
発振周波数 10MHz, 48MHz, 654MHz, 771.25MHz

PG4W3

低電圧(AC40～60V)方式

600+R SYSTEM

インタラクティブ型CATV「600+R」システムの幹線増幅器に使用する，上りAGC(自動利得制御)用のパイロット信号発生器です。



MASter of PROduction
生産の匠

高度なCATVシステムに対応する性能と機能

4つの発振周波数

水晶発振方式およびPLL（位相同期ループ）発振方式による安定した10MHz，48MHz，654MHz，771.25MHzの4つの基準信号をすべて出力できますから，「600＋R」システムの上りパイロット信号発生器に最適です。

ユニット方式

電源と各周波数のパイロットジェネレーターはユニット化してありますから，保守・点検が容易です。

作動表示灯

ケースの底面に作動表示灯がありますから，地上から作動状態が容易に確認できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能

出力レベル調整(混合)

各基準信号を同時に⊖5～⊕10dBの範囲で連続して調整できます。

電源スイッチ

出力端子

(AC40～60V受電)

幹線分岐増幅器の出力端子に接続してください。

電圧測定端子

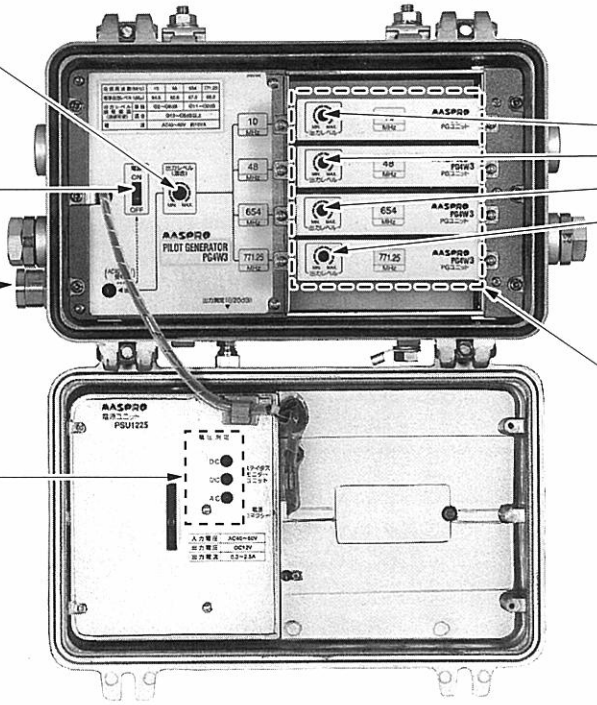
受電電圧は，AC端子とGNDの端子間で測定してください。

出力レベル調整（単独）

各基準信号ごとに連続して調整できます。

10MHz： ⊖8～ ⊕2dB
48MHz： ⊖8～ ⊕2dB
654MHz： ⊖2～⊕11dB
771.25MHz： ⊖2～⊕11dB

PGユニット

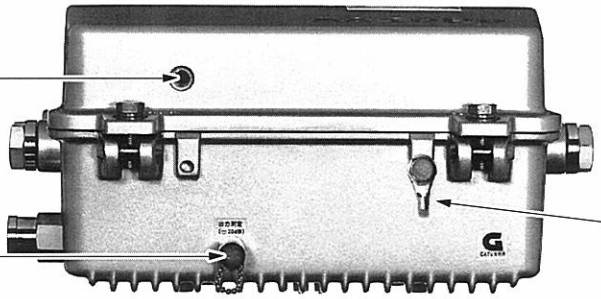


底面

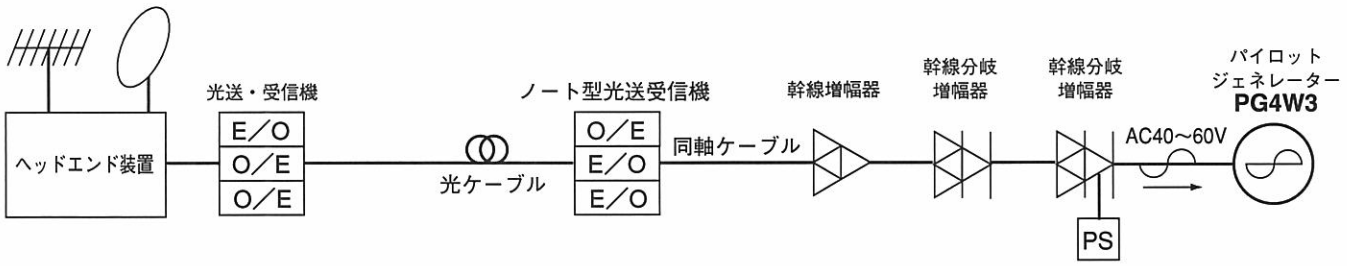
作動表示灯

出力測定端子 (⊖20dB)

アース端子



使用例



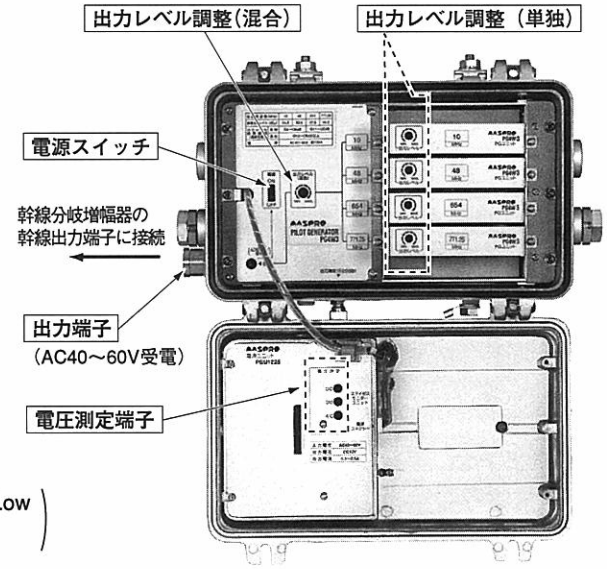
操作手順

① 接続 ---------- CATVシステムにある，最終段の幹線分岐増幅器の幹線出力端子と，パイロットジェネレーター **PG4W3**の出力端子を75Ωケーブルで接続してください。

② 受電 ---------- a. 幹線分岐増幅器の電流通過スイッチを操作して，幹線出力端子に電流通過させます。
b. パイロットジェネレーター **PG4W3** の電源スイッチを**ON**にして，出力端子から受電してください。
c. 電圧測定端子で，受電電圧を確認してください。

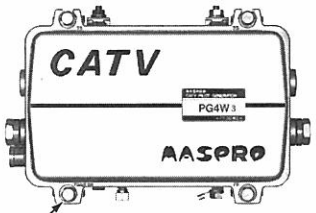
③ 出力レベル設定 --- 各出力レベル調整（単独）と，出力レベル調整（混合）で，所定のレベルに設定してください。

（パイロット信号のレベルは，幹線分岐増幅器の上りLow入力測定端子，上りHigh入力測定端子で確認します。）



フタ締付用ボルト

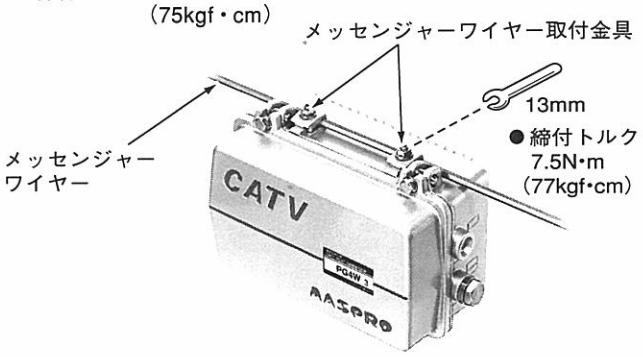
- フタは，ハウジング本体にしっかり合わせてから締付けてください。
- フタ締付用ボルトは，13mmのトルクレンチで，指定の締付トルクで均等に締付けてください。



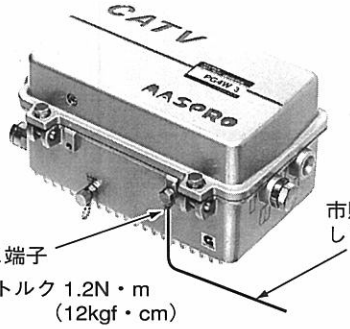
フタ締付用ボルト（4本）
●締付トルク 7.4N・m
（75kgf・cm）

取付方法

- 取付金具にメッセンジャーワイヤーをはさみ，13mmのボックスレンチまたはスパナで締付けてください。
- 支持柱・腕金・板壁面に取付ける場合，別売の取付金具**TMK120**を使用してください。
（詳しくは，**TMK120**の取扱説明書をご覧ください）

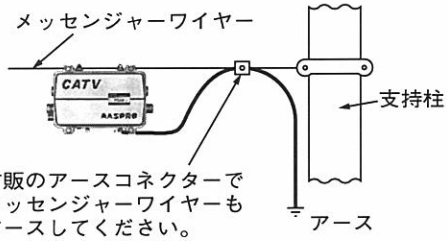


アース



アース端子
●締付トルク 1.2N・m
（12kgf・cm）

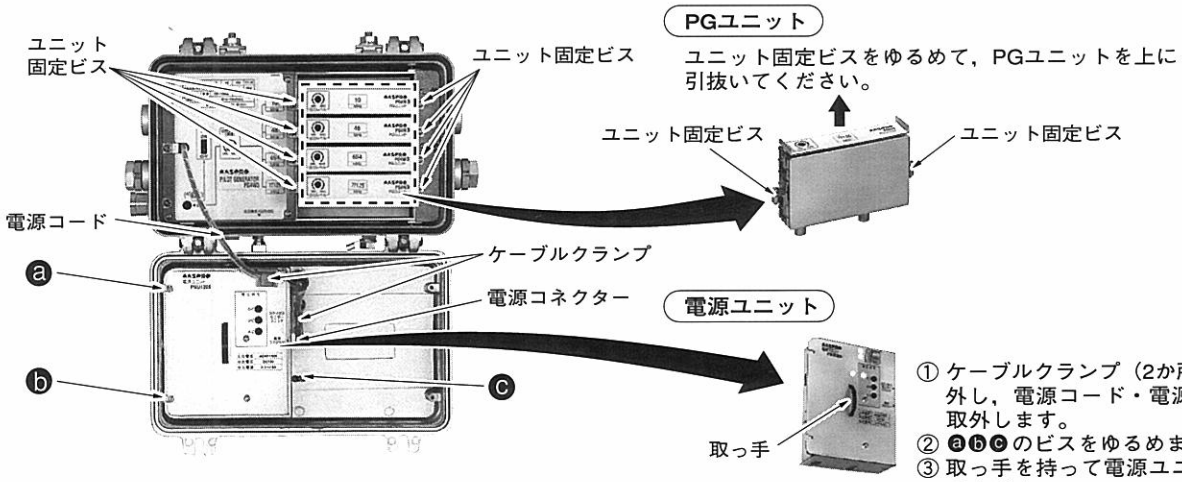
市販のϕ1.6mm以上のIV線を接続して，確実にアースしてください。



支持柱ごとにメッセンジャーワイヤーのアースをすると，施設内の機器全体の避雷性能が向上します。

ユニットの交換方法

必ず施設の電源を切ってから取外してください。



① ケーブルクランプ（2か所）のロックを外し，電源コード・電源コネクターを取外します。
② abcのビスをゆるめます。
③ 取っ手を持って電源ユニットを取外してください。

正しく使用していただくために

予定の出力レベルが得られないときは，次のチェックをしてください。

出力測定端子に，パイロット信号が出ない

電源（AC40～60V）が供給されていますか。

- 電源供給器の電源のチェック
- 幹線分岐増幅器の電流通過スイッチのチェック

出力レベルを測定するときの注意

レベルを測定するときは，測定用75Ωケーブルの減衰量も加算してください。

実際のレベル＝測定値＋測定端子結合量（⊖20dB）＋ケーブル減衰量

測定用75Ωケーブル減衰量

S5CFB 15m

周波数（MHz）	10	48	654	771.25
減衰量（dB）	0.3	0.7	2.6	2.9

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所か，本社技術相談にお問合わせください。

規格表

MASPRO

項目		規格			
発振周波数		10MHz	48MHz	654MHz	771.25MHz
出力レベル安定度		±1dB以内（⊕20℃基準）			
周波数安定度		±10kHz以内		±25kHz以内	
標準出力レベル		84.5dBμ	82.6dBμ	67.5dBμ	66.2dBμ
出力レベル調整範囲	単独	⊖8～⊕2dB以上（連続可変）		⊖2～⊕11dB以上（連続可変）	
	混合	⊖5～⊕10dB以上（連続可変）			
VSWR		1.5以下（10～55MHz，70～771.25MHz）			
スプリアス		⊖70dB以下			
出力インピーダンス		75Ω（FT型コネクター）			
出力測定端子結合量		⊖20dB（F型コネクター）			
耐雷性		15kV（1.2／50μs）のサージ電圧に耐えること			
不要放射		34dBμ／m以下			
使用温度範囲		⊖20～⊕40℃			
電源		AC40～60V			
消費電力		約6W／約10VA			
外観寸法		202（H）×310（W）×151（D）mm			
質量（重量）		約5kg			
シンボル					

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

MASter of PROduction
生産の精者

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
本社〒470-0194（本社専用番号） 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802—2244
工事営業部 〃 (052)802—2225
技術相談 〃 (052)805—3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 226-9200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 846-6872
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 341-0595
和歌山 (073) 473-8867
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

2K55-260 B-15-4260-1L
MAY.,2001